

1 岩手県滝沢市 滝沢市役所若者活躍推進室

「若い世代の行政参加の取り組みと評価について」

2 岩手県滝沢市 ビッグルーフ滝沢

「大ホール、会議室、図書館、観光案内、産直、レストランなどの滝沢市交流拠点複合施設」

産直、レストランなど人が集まって来る場所に図書館が併設されていて便利。図書数も10万冊とのことで豊富である。利用者が学生から高齢者まで多岐にわたり地域に馴染んでいることが伺えた。複合施設としての強みを活かした好例だと思う。

3 岩手県紫波郡紫波町 オガール企画合同会社

「オガール循環型まちづくり・環境コース」

公民連携の成功事例。町の地価が上昇したという。近隣の自治体が地価下落をする中で紫波町は上昇しているということで事業の結果が裏付けられていると感じた。

4 岩手県紫波郡紫波町 紫波町役場

「NFTを活用したデジタル戦略について」

通貨(トークン)の発行による自主財源の確保については興味深かった。軌道に乗れば自治体にとって新たな財源確保策になると思う。ただし、通貨発行について多くの困難とリスクが有るため、注意深く見守る必要がある。

・通常、通貨はその価値を担保するもの(金ゴールド)が存在するが発行体がどの程度の担保を保有するのか気になった。トークンが流通するは、住民に通貨としての価値があると認識してもらえるかが鍵になると思う。

・トークンの価値が上昇したタイミングで売却すれば自主財源とすることができるが、下落した場合トークンは売ることができず塩漬けになる。自治体としてはトークンを無償譲渡されているため損失は出ないと考えられるが、トークンを購入している投資家は損失を被ることになる。

5 岩手盛岡市 木伏緑地

「公設の都市公園。公民連携・民間主導による管理」

公募設置管理制度の活用による公園活性化の先進事例として視察。もともと荒地だった一帯を整備したもので、場所は盛岡駅に近く人の流れもある。周りはオフィス、ホテル、飲食店が多くある場所である。この緑地が成功事例と位置づけられるのも、こうした大きなマーケット内に立地していることも要因ではないかと感じた。

全体を通じて

良い研修でした。